

# 最初ハーヴィ、次にアーマ：実はここで何が起きているのか？

NWO 陰謀団が 2 つのハリケーンを、地球的気象変化詐欺に使っている

【訳者注】今度の人工ハリケーン「ハーヴィ」は格別被害が大きかったようである。これは今に始まったことでなく、意図的に作ったハリケーンは、アメリカでいくつかあった（「カトリーナ」など）。明らかに、気候を武器にした、人民に対する「気候戦争」である。そんなことを信じないという人のために、末尾に、GeoengineeringWatch.org の Dane Wigington の短い文と（かなり早口の）ビデオを引用しておいた。彼もこれを、何も知らぬ人民に対する戦争だと言っている。「気象操作」は全世界に及んでいると言われるから、わが国の異常気象も間違いなく、その影響を受けているであろう。ケムトレール散布は今も続いていて、今のところ特に悪影響の話は聞かないが、蓄積効果が一気に現れるということも考えられ、海産魚の大量絶滅は近いと言われる。ともかく、秘密とかタブーとかいうこと自体が、気味が悪いではないか。

Cosmic Convergence Research Group (SOTN)

September 2, 2017

## 日食の後、アメリカはワンツーパーチをもらうのか？

皆既日食、特にそれが月曜日、8月21日、アメリカの頭上を横断するときに関係づけられていた、非常に不吉な兆しを理解しているアメリカ人は、災害をもたらした超大型ストーム Harvey に、全く驚きはしないだろう。（論者は、日食は単なる物理現象でないと言う）

また、大西洋上で急速につくられ、すでに“カテゴリー4”に入っている、もう一つのハリケーン Irma にも驚きはしないだろう。

### [特別ノート]

天候操作、気象工学、気象兵器化が、すでに完成の域に達していることを考えれば、現在では、気象工学者が、大西洋やメキシコ湾に生まれたばかりの、小さな嵐をハイジャックし、これを組織的に、巨大で強力な超大型ストームに育てることは、全く簡単なことである。こ

れこそ気象工学者が、2005年のハリケーン・シーズンに、カトリーナ、リータ、ウィルマを使ってやったことである。これは、すべてのハリケーンが操作されているという意味ではない。しかし、人工操作のそれらしい印をもつものは、非常に簡単に見分けがつく。このリンクには、2015年のテキサス州の超大型ストームが、作り物だということを決定的に示す、人工衛星が示されている。 <http://themillenniumreport.com/2015/05/is-the-texas-rain-deluge-and-flood-a-geoengineered-event/>

## 地球的気象変化と「パリ気象協定」

ドナルド・トランプ大統領は、NWO グローバリスト陰謀団をいらいらさせる、多くの言動をやったのけた。

今年、トランプが行ったすべての大統領決定の中で、パリ協定からアメリカを離脱させたことは、何ととっても最も重要だった。それはまた、深層国家の無数の工作人員を動かしたのもであった。東海岸の知識人から、ワシントン内部の法律家 - ロビイストに至るまで、シリコン・バレーの大物からハリウッドの大物に至るまで、いたる所の富豪エリートが腕をまくし上げている。気象変化に関する国連枠組み会議のもとで合意をひねり出した、国連と EU の官僚たちは、特に業を煮やしている。

詐欺的に得られたパリ合意は、何十年にも及ぶ、トップ・レベルでの政治的腐敗と政府の説得の後で、丹念に一つひとつ繋ぎ合わされたものだった。この国際協定は、“人的原因で発生した CO2” という論点を、その存在の根拠に使っているから、このペテン議論を支えるのに必要な科学的詐欺の量たるや、比較するものがないほどである。

**キーポイント：**“地球的気象変化” と今呼ばれている、この惑星的こけおどしは、グローバリストによって何十年もかけて、まったく意図的に計画されたものである。地球的気象変化には、確かに人間の活動の要素が加わっている。しかし注意してほしいが、それは人間の出す CO2 ではない。地球温暖化の最近の広がり大部分の、主要な人為的要素は、疑いの余地なく、世界的な気象操作 (geoengineering) である。「気象操作が地球的気象変化の第一の原因であって、CO2 ではない」

<http://stateofthenation2012.com/?p=27876>

前のリンクの言っている意味は、化学的気象操作と HAARP の技術の両方の広範囲な利用と、地球的気象変化の間には、明らかに、直接の因果関係があるということだ。地球的気象変化がほとんど人為的なものだというだけでなく、それは、コントロール機構 (すなわち一世界政府) に統合された一部として、組織的に作り出されているのである——惑星文明全

体にはめ込むように。「一世界政府はもともと、地球的 CO2 管理体制として出現した」

<http://stateofthenation2012.com/?p=15986>

## 一世界政府

これが、国家主義的なアメリカ大統領の困り果てるところである。パリ協定を正式に退くアメリカの意向を提出することで、トランプは本質的に NWO アジェンダ、特に一世界政府プロジェクトを、吹き飛ばしてしまった。もちろん愛国者運動は、この決定を、本当に国家とその市民を愛するものとして絶対的に支持した。

地球的な、全権力と支配力をもつ全体主義的な超国家を創造する、グローバリスト計画の要石になるのは、一世界政府の樹立である。そして、支配者陰謀団がこの新しい独裁制を世界の国家共同体に押し付けようとして考え出したのが、この地球規模気象変化というペテンだった。強権に従うヨーロッパ連合（EU）は、一世界政府が目標とするもののすばらしいモデルになっている。

このようにして、初めて、グローバリストたちは、地球上のすべての隅々を効果的に所有し、運営することができる。彼らの未来の一世界政府に、不法に権力を集中することによって、支配者たちは、全世界の天候と天然資源に対し、完全な権威を行使することができる。次のように――

「NWO 陰謀団は、地球の天候と天然資源への完全な支配権を求めている」

<http://stateofthenation2012.com/?p=15986>

この権力略奪作戦において、NWO 陰謀団は、あらゆる国家に命令を下すことができるかもしれないが、それはアメリカ政府の十分な支持がなければ完成しない。アメリカは事実上、世界の警察だから、この全面的世界支配の計画は、トランプ政権の全面協力なしには進行しないだろう。だからこそ、「アメリカは New World Order の軍事部門である」と言われる。

<http://cosmicconvergence.org/?p=1167>

## ハーヴィとアーマ：「地球的気象変化」二人組ペテン師

トランプが、地球的気象変化では鼻持ちならない奴になったので、支配者陰謀団は、彼を役職から降ろすか、パレードに土砂雨を降らすか、何でもやれることをやろうとしている。

権力者どもは、まさにそれを「ハーヴィ」でやったのである。どうやらこれを、「アーマ」

でもう一度やろうとしているようだ。気象操作技術者たちは、影の政府から渡された紙に、超大型ストームの設計図を作成するものと思われる。陰謀団がこれまでに取ってきた極端な方針を考えると、このハリケーン・シーズンを通して、大陸内部を狙った、いくつかの暴風雨を起こす可能性が大きい。

「ハリケーン・ハーヴィー：アメリカ史で最も見え透いた操作スーパーストーム」

<http://stateofthenation2012.com/?p=82529>

一連の大型ストームが大都市や主要な州を襲うことほど、“ショックと脅し”作戦として有効なものはない。何も知らない民衆は、ハーヴィーのような大災害の後では、喜んで権限を放棄し、厳しい法律に従うだろう。

こういうところでこそ、グローバリストは合意を作り出す能力を発揮する。彼らは、二つか三つの激震的スーパーストームがあれば、アメリカ人を怖がらせて従わせるのに十分で、民衆は、羊のように一斉に檻の中に追い込まれるだろうと知っている。

**キーポイント：**これらの人々の多くは、すでに完全に洗脳された、オバマやクリントンやバーニーの信者である。でなければ、リベラルか左翼の過激派で、文字通り CNN のニュースを信じている。またその他に、フェイク進歩派やラディカル民主党、生粋の社会主義者や共産主義ボルシェビキがいて、どんなものでも約束した綱領に従うだろう。さらには、“アンティファ”（極左）テロリスト、ブラック・ライブズ・マター（黒人人権運動）や LGTB の傭兵などもいて、彼らはジョージ・ソロスの手先からの命令に厳密に従うだろう。ソロスの会社は、すべての主要な地球温暖化グループを援助している。

## 天候戦争と環境テロリズムによる集団 PTSD

ひとたびハーヴィーが、テキサス海岸とその周囲の環境を、完全にテロ状態にするというミッションを終えると、それはこの国の残りを、モンスター・ストーム恐怖症状にしまった。海岸地方に住んでいない人たちでも、今、気象技術者の作るフランケンシュタイン・ストームの用意をしなければならなくなった。「ハーヴィーは、ヒューストンのカトリーナおよび 9・11 だった」 <http://stateofthenation2012.com/?p=82604>

実際、全米の多くの州で、大破壊をもたらすメガ暴風雨や竜巻（と竜巻群）が起こっている。怪物暴風雨が連続して起こる度に、犠牲者やその家族、友人らは、独特のタイプの PTSD を発症する。当然であろう。地域社会全体が、このような人工ストーム・システムによって、あっという間に破壊されている。

重要なポイントは、これが気象戦争であり、全米人民が日常的にテロにさらされているということである。彼ら自身が犠牲にならなくても、家族や友人を通じて、多くの人が恐ろしい他人の体験を知っている。このようにして政府は容易く、大量の、集団的な、政府への需要をつくり出させることができる。

この肝心な背景を考えれば、気象技術者たちが、どうやって、なぜ、**ハーヴィ**をテキサス海岸に叩き付けたのかが明らかなはずである。彼らが究極的に**アーマ**をどうするか、興味のあるところだ。たとえそれが不発に終わったとしても、陰謀団は、脅迫だけで彼らの目的を果たすだろう。集団 **PTSD** は非常に強力な現象でありうる。

2010年メキシコ湾原油流出事故は、メキシコ湾共同社会に、これほど多くの災害をつくり出すとは夢にも思わなかった、人工の大量破壊兵器について、多くのことを教えた。この明らかな環境テロ行為から、まだ立ち直っていない湾岸の人々が沢山いる。同じように、東部テキサスの人々も、今起こったばかりの出来事から回復するのに、かなりの時間を要するだろう。

## そしてどうなるか？

米本土を、このような高度に破壊的で恐ろしい怪物ストームで襲うことによって、権力エリートは大統領に、大声ではっきりしたメッセージを送っている——アメリカはパリ協定に入り直せ、さもないと！

あの茶番の、強制的国際協定は、一世界政府の根本の根拠であり、トランプが何らかの方法でその見込みを永遠になくしてしまわない限り、**NWO** 陰謀団が手放すことのできないものなのだ。

しかし、もう一つ別のメッセージがある——トランプ大統領はアメリカの制空権をもっていない。それなのに彼は米空軍の総司令官なのだ。このような苦しい立場が存在するにはわけがある。——ますます多くの人々がこの異常に気づき始めたということは、よい方法に向かう一歩である。

市民は、なぜ大統領が陸や空の統制権をもっていないのか、あるいはカリフォルニア全土に見られるように、給水権をもっていないのか知りたがっている。どうか、この馬鹿げた状況がきっかけとなって、トランプが、アメリカ共和国の主権を奪い返さざるをえなくなる事態に、発展してほしいものである。

その時まで、この国は、あといくつかの大型暴風雨に耐えなければならないかもしれない。連続して洪水や渇水が起こるたびに、アメリカ人民は最後には目覚めるであろう——かつて自然と思われた天候や気象のパターンは、すべてフェイクだったという事実。主流メディアのつくり出すあまりにも多くのニュースが、フェイクだったように。

これほどタイムリーで劇的な並行関係はありえないだろう。我々の天候を取り戻すということが、代替メディアを通じて、我々の日常のニュースとしての主流メディアを取り戻すことに、あらゆる点でぴったり重なる。遅かれ早かれ、もしアメリカが世界のための善なる力になろうとするなら、この両方の異常が矯正されなければならない。

Dane Wigington, GeoengineeringWatch.org (August 30, 2017): **工学操作された大気象変動、ハリケーン「ハーヴィー」**

ハリケーン「ハーヴィー」は、全く疑いをもたない民衆に対して仕掛けられている、ひそかな気象戦争の最新の例である。ますます破局的な気象の大変動が、ますます自暴自棄に、攻撃的になっていくグローバルな権力構造によって、統制され操作されている。急速に加速化されていく気象と生命界の崩壊は、どこか遠い先の話でなく、今、ここで起こっている。気象工学は、我々のかつて栄えた地球上の、残った生命の繋がりへの破壊に更に火を注いでいる。否定できない事実とフィルム記録によって、**下のビデオ**は、ハリケーン「ハーヴィー」の操作の様子を、完全に明らかにしている。

信用できる、検証しうるデータを共有することが、現在進行中の気象操作攻撃を暴き、やめさせる戦闘において、不可欠である。不正確で虚偽のデータが拡散されたときには、気象操作の暴露と停止要求の肝心の正義が傷つけられる。調査し、最も疑いの余地のない組み立てブロックの事実をよく知った上で、見解を述べるようにすべきである。——DW

<https://youtu.be/uF2jleJ2RUg?list=PLwFftDFZDpwtijqkjiOyc-WJOaGWOfVGG>

(Engineered Climate Cataclysm: Hurricane Harvey)